

令和 4 年度
調査・研究に関する自己点検評価報告書

令和 5 年 7 月

静岡県立美術館

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年4月1日

職・氏名 学芸課長・石上充代

- 専門分野 日本美術史
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 近代日本画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

小計 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・企画展「近代の誘惑—日本画の実践」展主担当
- ・同展 スライドトーク 1回
- ・同展 フロアレクチャー 3回
- ・同展 子どものためのガイド作成 2種
- ・企画展「絶景を描く—江戸時代の風景表現」展副担当
- ・収蔵品展「綱川図と蘭亭曲水図」副担当
- ・同展 シンポジウム副担当

小計 7 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・ふじのくに芸術祭 企画委員会委員、美術部門美術展審査員
- ・ふじのくに子ども芸術大学実行委員会委員

小計 2 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

小計 () 本

合計 9 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年4月20日

職・氏名 上席学芸員 南 美幸

- 専門分野 美学・美術史
- 所属学会 美術史学会、日仏美術学会
- 主要研究テーマ 西洋美術史

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

1 論文「資料紹介 ジョヴァンニ・ピエトロ・ピナローリ『現存する、古今ローマの最も記念すべき事柄の論文について』(《静岡県立美術館ニュース アマリリス》第147号、令和4年10月)

小計 1 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- 1 「新収蔵品展」
- 2 「新収蔵品展」フロアレクチャー 1回
- 3 移動美術展「富士から世界へ、風景を巡る」(11月19日～11月27日) 担当
- 4 移動美術展フロアレクチャー 計4回

小計 4 本

5. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- 1 静岡文化芸術大学「美術史(西洋) I 特別講義」講師

小計 1 本

6. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

1 論文「資料紹介 ジョヴァンニ・ピエトロ・ピナローリ『現存する、古今ローマの最も記念すべき事柄の論文について』(《静岡県立美術館ニュース アマリリス》第147号、令和4年10月)

小計 (1) 本

合計 6 (1) 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年4月1日

職・氏名 上席学芸員 新田建史

- 専門分野 美学美術史
- 所属学会 地中海学会、保存修復学会
- 主要研究テーマ 西洋16～18世紀美術、東西美術交流史、東西版画史、文化財保存

1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・「ピラネージの版画技法について」、『静岡県立美術館紀要』、第38号、2023年3月

小計 1本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「大展示室展」4月2日(土)～5月15日(日)
- ・「大展示室展ボランティア講座」4月2日(土)
- ・「大展示室展フロアレクチャー」4月3日(日)、13日(月祝)
- ・大展示室展学芸員美術講座「静岡県立美術館の記憶について」4月9日(土)
- ・「大展示室展静岡県博物館協会会員向けフロアレクチャー」4月11日(月)、13日(水)
- ・大展示室展館長美術講座「美術館とは壁である」5月3日(火祝)
- ・大展示室展関連ワークショップ「展示室の秘密を探れ！」5月4日(水祝)、5日(木祝)
- ・「兵馬俑と古代中国展」6月18日(土)～8月28日(日)

小計 11本

7. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・ポスター発表「エアタイトキャビネットを用いた収蔵庫内の有害ガス濃度対策」(6月、文化財保存修復学会第44回大会、山崎正彦氏(光明理化学工業株式会社)との共同発表)
- ・「LED照明の現在2022」12月20日(火)、静岡県博物館協会講習会
- ・「博物館の防災を考える歴史資料編」、2023年3月19日(日)、静岡県博物館協会講習会

小計 3本

8. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

小計 0本

合計 15本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年 4月 1日

職・氏名 上席学芸員 川谷承子

- 専門分野 現代美術
- 所属学会
- 主要研究テーマ 戦後美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

「高松市美術館「みる誕生 鴻池朋子展」の開幕に寄せて」、記録集 高松編
「みる誕生 鴻池朋子展」は美術館に何をもたらしたのか。」、記録集 静岡編
「宮脇愛子《作品》と光をめぐる考察」『アマリリス No. 149』研究ノート

小計 3本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- 新収蔵品展
- 企画展「みる誕生 鴻池朋子展」主担当
- 収蔵品展「光—The Light」展主担当
- 収蔵品展「新収蔵品展」フロアレクチャー 6月12日
- 企画展「みる誕生 鴻池朋子展」関連イベント トーク2「裏山が抜け道になる」
- 企画展「みる誕生 鴻池朋子展」フロアレクチャー 12月18日
- 収蔵品展「光—The Light」フロアレクチャー 2月6日、3月26日

小計 7本

9. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・太田正樹氏からの寄贈作品（作品70点）の受け入れに伴う調書の作成

小計 1本

10. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

「宮脇愛子《作品》と光をめぐる考察」『アマリリス No. 149』研究ノート

小計 (1) 本

合計 11 (1) 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年4月4日

職・氏名 主任学芸員 喜寿孝臣

- 専門分野 日本近代美術史
- 所属学会 明治美術学会 文化資源学会
- 主要研究テーマ 1920年代から30年代の日本社会と美術の関わり

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・「命令する労働者から動員される労働者へープロレタリア漫画と芸術学院」(『もやもや日本近代美術—境界を揺るがす視覚イメージ』 勉誠出版、令和4年12月)
- ・「日本近代デスマスク小史—石膏型取りと彫刻のあいだをめぐって」(『静岡県立美術館紀要』38号、令和5年3月)

小計 2 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「大展示室展」
- ・「みる誕生 鴻池朋子展」
- ・「移動美術展」

小計 3 本

11. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・講演会「洋画家としての津田青楓—図案から洋画断筆まで」【笛吹市青楓美術館】11月12日
- ・授業「日本近代美術史特講 b」実践女子大学

小計 2 本

12. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

小計 () 本

合計 7 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年4月25日

職・氏名 上席学芸員 植松篤

- 専門分野 現代美術
- 所属学会 美学会、広島芸術学会
- 主要研究テーマ 戦後美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・論文「無題」(増田将大個展「Scattered and Connected」配布物、MARUEIDO JAPAN、令和4年10月)

小計 1 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・企画展「兵馬俑と古代中国～秦漢文明の遺産～」 主担当
- ・同展特別講演会主担当
- ・同展館長美術講座主担当
- ・同展スライドトーク (2回)
- ・企画展「みる誕生 鴻池朋子展」 副担当
- ・同展トーク 1 副担当
- ・同展トーク 2 副担当
- ・同展館長美術講座副担当
- ・同展筆談ダンス副担当
- ・収蔵品展「光-The Light」 副担当

小計 11 本

13. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・静岡大学 思想と芸術 B 講師「地方の美術館の現状について」(1コマ) 12月14日
- ・静岡文化芸術大学 博物館学概論 講師「静岡のアートシーンと天地耕作展の立案について」(1コマ) 1月20日

小計 2 本

14. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

小計 (0) 本

合計 14 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年4月16日

職・氏名 上席学芸員・野田麻美

- 専門分野 日本美術
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 近世絵画（狩野派）

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・(美術史学会東支部大会発表)「美しい模写の探求—狩野探幽、栄信を中心とする江戸狩野派の模本、直模作品、倣古図についての考察—」(シンポジウム「模写・模本とその新しい価値—アーカイヴから記録、鑑賞まで—」於東京藝術大学、2022年4月3日(日))
- ・(講演)「江戸狩野派を知ると浮世絵はもっと楽しくなる」(中山道広重美術館、2022年4月9日(土))
- ・(論文)「江戸狩野派による雪舟『山水長巻(四季山水図)』(毛利博物館)の学習」(『雪舟と狩野派』展図録、山口県立美術館、2022年9月)
- ・(発表)「久隅守景『蘭亭曲水図屏風』試論—江戸狩野派の蘭亭曲水図にみる遊宴図像の展開」(「輞川図と蘭亭曲水図」展シンポジウム、静岡県立美術館、2022年12月3日(土))

小計 4本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- 「絶景を描く」展副担当
- 「近代の誘惑」展副担当

小計 2本

15. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

小計 本

16. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

- ・(美術史学会東支部大会発表)「美しい模写の探求—狩野探幽、栄信を中心とする江戸狩野派の模本、直模作品、倣古図についての考察—」(シンポジウム「模写・模本とその新しい価値—アーカイヴから記録、鑑賞まで—」於東京藝術大学、2022年4月3日(日))
- ・(発表)「久隅守景『蘭亭曲水図屏風』試論—江戸狩野派の蘭亭曲水図にみる遊宴図像の展開」(「輞川図と蘭亭曲水図」展シンポジウム、静岡県立美術館、2022年12月3日(土))

小計 (2)本

合計 6 (2)本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年4月26日

職・氏名 上席学芸員 貴家映子

- 専門分野 西洋美術史
- 所属学会 日仏美術学会
- 主要研究テーマ フランス近代美術、風景画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・論文『『古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅：オーヴェルニュ編』におけるウジェーヌ・イザベイの挿絵成立背景について』『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第148号、令和5年1月1日
- ・「突撃！となりのミュージアム！Vol.2-『どうしてる？多様なミュージアムの運営状況』篇-(報告)』『静岡県博物館協会研究紀要』第46号、2023年3月31日

小計 2本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・企画展「大展示室展」(4月2日～5月15日)副担当
- ・企画展「兵馬俑と古代中国～秦漢文明の遺産～」(6月18日～8月28日)副担当
- ・企画展「糸で描く物語」(令和5年度開催 準備)
- ・収蔵品展「絶景考Ⅰ」(7月20日～9月19日)
同展フロアレクチャー 9月3日
- ・収蔵品展「絶景考Ⅱ」(9月21日～11月20日)
同展フロアレクチャー 10月22日
同展関連美術講座 企画・実施「農村を描く印象派画家ーカミーユ・ピサロとポントワーズ」
講師：深尾茅奈美氏(静岡市美術館)11月6日
- ・ロダンウィーク 11月3日～6日

小計 9本

17. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・静岡県立大学 国際関係学部特別講座「近代フランスの風景画から考える『絶景』」11月24日
- ・「《地獄の門》VR オンライン鑑賞教育プログラム」の開発および試行実施
(清水第7中学校/1月14日、1月27日)

小計 2本

18. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

- ・論文『『古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅：オーヴェルニュ編』におけるウジェーヌ・イザベイの挿絵成立背景について』『静岡県立美術館ニュース アマリリス』第148号、令和5年1月1日

小計 (1)本

合計 13 (1)本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 令和5年4月25日

職・氏名 主任学芸員 浦澤倫太郎

- 専門分野 日本
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 日本近世絵画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

「絶景を描く ―江戸時代の風景表現―」展 小冊子

小計 1 本

2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業

「絶景を描く ―江戸時代の風景表現―」展フロアレクチャー 3本
 「絶景を描く ―江戸時代の風景表現―」展スライドトーク
 出張講座【富士宮市立富士根南小学校】、10月11日
 出張講座【御前崎市浜岡北小学校】、11月17日
 出張講座【富士市立丘小学校】、11月22日
 出張講座【富士市立丘小学校】、11月30日
 オンライン鑑賞教育プログラム「《地獄の門》VR」試行【静岡市立清水第七中学校】1月14日（美術部）、1月27日

小計 9 本

19. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

講義「小杉文庫について」【静岡大学講義】「地域の人と文字文化」全2回)、5月23日、30日
 講演「江戸絵画で巡る静岡の絶景」(静岡県富士山世界遺産センター主催 世界遺産登録10周年記念特別企画「富士山 芸術の源泉」)【東京美術倶楽部】2月4日

小計 3 本

20. 収蔵作品に関する論文・発表等【再掲】

「絶景を描く ―江戸時代の風景表現―」展 小冊子

小計 (1) 本

合計 13 (1) 本